

# Mk23を教訓に造られたヘッケラー45口径!

2001年11月、アメリカ陸軍特殊部隊デルタフォースに在籍中だったラリー・ビックアースは、HK本社にて<HK1911/45>のプロジェクトに参画していた。秘密部隊デルタに20年間在籍し、M1911/45のシーダー&インストラクターとしても有名なラリーに「理想の45口径エリートピストルはどのような形なのか?」という意見が求められたのだ。そのときラリーは「ガバメントは5万発以上の発射に耐えるが、それ以上の耐久性とメンテナンス性が必要」「グローブをしても握り易い細身のクリップに45口径カートを最低10発は保持」「ピカティニーレイルも必須」と掲げた。この要望を元に、発売されて以来P2000に改良を加えたプロトタイプが5ヶ月で作られた。折しもSOCOM(アメリカ特殊部隊統合軍)よりJCP(ジョインド・コンバット・ピストル・プログラム)のライアルの話が持ち上がり、トライアルには、HK45の他、ベレッタPx4、シグ/ザウエルP220、クロック21が参加。しかし2006年、理由が定かではないまま、突如トライアル自体の無期延期が決定された。

&lt;/div